

各位

上場会社名 ユニパルス
 代表者 代表取締役会長兼社長 吉本喬美
 (コード番号 6842)
 問合せ先責任者 常務取締役経営統括本部長 和田倫幸
 (TEL 03-5148-3000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年4月24日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,097	△63	△27	△125	△24.91
今回発表予想(B)	3,918	△74	△39	△68	△12.86
増減額(B-A)	△179	△11	△12	57	
増減率(%)	△4.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年9月期)	5,661	589	617	362	67.59

平成21年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,738	111	197	△27	△5.38
今回発表予想(B)	2,668	125	210	55	10.40
増減額(B-A)	△70	14	13	82	
増減率(%)	△2.6	12.6	6.6	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年9月期)	3,524	593	670	426	79.69

修正の理由

(連結業績)

当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が継続するものと予想されることから、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

具体的には、ファクトリーオートメーション分野で約1億円の減収を見込んでおります。

しかしロジスティクス事業の原価率改善や株式会社ナノテストの事業構造改革をはじめとしたグループ全体のコスト削減努力により、営業損益及び経常損益は前回予想より約11百万円下回る程度に留まる見込みとなりました。

また、本日発表の「子会社の事業構造改善費用計上及び子会社の吸収合併効力発生日変更のお知らせ」に記載の通り、特別損失に事業構造改善費用63百万円を計上いたしますが、これに伴う影響は前回予想時点で織り込み済みであり、株式会社ナノテストの当社への吸収合併の早期化による効果と、平成21年5月27日発表の「訴訟の終結に関するお知らせ」に記載している訴訟損失引当金戻入額約20百万円の特別利益への計上等の要因により、当期純損益は前回予想より改善する見込みとなりました。

(個別業績)

売上高は前回予想を下回る見込みとなりましたが、株式会社ナノテストの当社への吸収合併の早期化、ロジスティクス事業の原価率改善、コスト削減努力、訴訟損失引当金戻入額約20百万円の特別利益への計上等の要因により、営業損益・経常損益及び当期純損益はいずれも前回予想を上回る見込みとなりました。

以上の要因を考慮した結果、上記の通り業績予想を修正いたします。

なお、当期の期末配当金につきましては、期首の予定通り、1株当たり15円を予定しております。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき判断したものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、この予想とは異なる場合があります。

以上